

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年7月7日
事業者名:	大塚林業合資会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	森林資源の適切な管理と持続可能な森林経営を通じてSDGsの達成に貢献しています。 搬出間伐事業を行うことで、森林の循環を良くしている。 健全な循環を維持することで、二酸化炭素の吸収や生物多様性の保全に努める。		⑮森の豊かさを守ろう, ⑬気候変動に具体的な対策を	令和7年度 間伐数量 5,100m3	指標	森林整備（間伐事業）を行うことで、二酸化炭素を吸収し排出量を減らす
					目標	間伐事業量 5,000m3～5,500m3の継続維持
社会	インターンシップの受け入れをしています。		⑧働きがいも経済成長も,⑨産業と技術革新の基盤をつくろう,⑮森の豊かさを守ろう	令和7年度 4月 商工会 現場見学 4名 5月 森林文化アカデミーインターンシップ 1名 11月 高校生 インターンシップ 2名	指標	インターンシップを積極的に行い、後継者（林業従事者）育成に努める
					目標	令和10年度までに、インターンシップの中から1名を雇用に繋げる。
経済	生産性向上と品質の確保に向け、林業機械（スイングヤーダ・プロセッサ）を活用した作業効率の向上を図る。		⑧働きがいも経済成長も,⑨産業と技術革新の基盤をつくろう,⑮森の豊かさを守ろう	令和7年度 林業機械の導入により、導入前から比べると1.5倍の生産性を得た	指標	素材生産量が維持できるように、作業員の増員と林業機械等の導入
					目標	2030年までには、作業員2名の増員と、林業機械フォワーダを導入
ガバナンス	チェック					
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ 社内において進捗状況の把握に努め、事業の改善策を検討している				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 会社窓口に取組み宣言書を掲示している。				